

2005年度第7回研修委員会議事録

日 時：2005年12月9日（金）15：00～17：15

場 所：慶應大学三田キャンパス図書館新館6階会議室

出席者：関秀行（慶應義塾大学）・佐伯正（明治大学）・関達朗（東京経済大学）・御園和之（早稲田大学）・和田貴敏（中央大学）・木下幸子（国土館大学）

議 長：関秀行（委員長）

記 録：木下幸子（研究部担当理事校）

配布資料： 第七回研修委員会のメニュー - 2005年度第2回研修会収支報告書

議 事

1. 2005年度第2回研修会の総括と反省について

収支報告について研究部より配付資料 のとおり報告がされ、了承された。

アンケート集計結果について感想を述べ合った。主な点は次のとおり

- ・全体としては、タイムリ・なテ・マで概ね好評であった。東京消防庁の方からのお話や、つくば市立図書館のお話などは普段ではなかなか聞くことがない分野の話が聞けてよかったと好評であった。
- ・防災対策についてははすぐ、実行できることは実行したいとの声が多かった。
- ・問題利用者についても共感する部分が多く、今後の対応の参考になったと好評であった。
- ・パネルディスカッションについては、時間が足りなかったという声やフロアとのやりとりを多くしてほしかったというような意見が多かった。

研修委員からの反省点

- ・アンケートの結果からもわかるとおりテ・マの設定は良かった。
- ・危機管理について基調講演で概略が整理された。
- ・図書館業界以外の専門家の話を聞いたことはよかった。
- ・研修の時間配分については、プログラムどおりでよかったと思われるが、時間オーバーとなるような場合には何らかの警告を発することも必要だ。
- ・パネルディスカッションについては現委員としては初めての経験であったが、司会者および、パネリストの方と事前に打ち合わせしたのがよかった。概ね成功したといえるが、パネリストの講演時間はもう少し長く設定したほうがよかったかもしれない。

パネルディスカッションの報告書について

録音したものを要約整理して報告書に掲載する。

2. 研修委員会今後の活動予定について

次期研修委員長、研修委員の選出について

2006年1月の役員会で報告できるように委員長が個別に交渉中である。現在決定しているのは、研究部担当理事校の国土館大学は2006年度残留。次期研究部担当理事校の東京経済大学の後任は次次期研究部担当理事校が未定のため決定次第委員の選出を依頼する。

2006年度の研修会会場について

第1回研修会は9月、慶應義塾大学か国土館大学で開催し、第2回研修会は12月頃、早稲田大学で開催するべく会場確保の準備をすすめる。次年度予算に会場

使用料として予算的措置をとる。

3.2 年間の研修を振り返って

反省点

- ・開催時期としては初年度9月・12月、次年度6月・12月がベタ - だろう。午前1講演、午後2講演の2日間開催を基本に、時にはパネルディスカッションを組入れるというペ - スがよい。
- ・研修会としてのHPを持ち、そこに掲示もし、記録も残すようにしたらどうか。

今、企画したいテ - マ

- ・2004年4月にまとめた研修テ - マ候補の中では、「大学における学術情報の基盤」「資料保存」「著作権」「図書館経営」などをやりのこしているが、次期に必要なに応じて提案していく。また、アウトソ - シングPart2、問題利用者Part2の企画も提案していく。

その他

運営委員会に要望を提出することについて

- ア.テ - マ設定から講師選出まで委員長の負担が大きいので、研修委員常任校をもう1校増やしてもらいたい。
 - イ.研修会場も研修委員校の中で調達するので、もう1校研修委員校を選出してもらいたい。たとえば、東地区部会長校からは必ず研修委員を1名選出してもらおうというようにしてほしい。
- 以上2点について運営委員会(12月22日)に要望を出す。

4.次回研修委員会について

- 日時：2006年3月 日時は未定
会場：国土館大学
議題： 新旧研修委員自己紹介
 研修委員会の役割と活動の再確認
 新旧研修委員引き継ぎ
 その他